

阪神地区私立大学教職課程研究連絡協議会  
2010年度第5回（通算229回）幹事校会記録

日時：2011年2月16日（水）15：00～18：00

場所：学校法人常翔学園大阪センター303教室

出席（12大学20名）：

追手門学院大学（田中耕二郎）

大阪工業大学（酒井恵子、西川泰行、半田孝、疋田祥人、山口洋之）

大阪産業大学（木村忠雄、瀬島順一郎、山田全紀）

大阪電気通信大学（川地亜弥子）

関西大学（原徹）

関西学院大学（冨江英俊）

近畿大学（杉浦健）

神戸国際大学（山本克典）

神戸女子短期大学（重藤美江子、高瀬陽子）

四天王寺大学（上野淳子、曾野洋）

姫路獨協大学（中嶋佐恵子）

桃山学院大学（竹中暉雄）

司会：酒井恵子

記録：竹中暉雄

議事：

（1）第4回幹事校会記録の確認

（3）の行頭を他の項と同様に一段下げ、（4）の「園田学園」を「園田学園女子大学」に、（8）の「杉浦氏」を「杉浦健氏」に、「（8）その他」を「（10）その他」にそれぞれ修正したうえ、記録を確認了承した。

（2）全私教協第5回理事会（2011年1月23日）の報告

疋田祥人事務局次長から、①2010年度研究交流集会の収支、②2011年度研究大会の全体テーマ、基調講演・シンポジウム講師、各地区協議会「分科会テーマ」、③全私教協専用HP開設準備状況、④会報第61号発行準備状況などについて、資料に基づき報告がなされた。

特に研究大会基調講演およびシンポジウムの講師の人選については、阪神教協と全私教協事務局との間で、役割分担に関する認識の相違があったことが説明された。この件については、議事（4）で改めて議論することとした。

質疑では、2010年度研究交流集会の大幅赤字の理由説明が、疋田事務局次長および田中耕二郎氏（全私教協・前事務局長）からなされた。

（3）全私教協HP掲載用の阪神地区活動紹介の内容原稿について

疋田祥人事務局次長から資料に基づいて説明がなされ、了承した。

(4) 全私教協研究大会および阪神地区の分科会の運営について

1) 研究大会開催校・関西学院大学の富江英俊氏から、同大学でもたれた全私教協事務局次長を交えた準備会（2月10日）について、次の2点が報告された。

① 事前申込み受付はWEB上で行い、作業は外部委託することにした。阪神教協には当日受付や情報交換会での司会などを依頼したい。

② 研究大会の基調講演講師およびシンポジストの人選について：全私教協事務局としては、基調講演の講師は、阪神教協から推薦した碓井岑夫氏（四天王寺大学学長）に依頼する可能性が高いが、シンポジストに関しては、阪神教協から推薦した候補者には依頼しない意向であった。正式決定は3月19日（土）の次回理事会となる。

②に関して、前回幹事校会以降、上記のシンポジスト候補者のお名前が挙がるに至った経緯や、全私教協事務局とのやりとりの詳細などが説明された。それらを踏まえ、対応を協議した結果、基調講演およびシンポジウムの運営について、今後は全私教協事務局および理事会に委ねて良いのか、特にシンポジストについて、全私教協側に具体的な対案があるのか等を確認し、もし上記の候補者に依頼する可能性がないと判明した場合、早急にご本人にお断りすることとなった。

2) 阪神地区分科会運営に関して、酒井恵子事務局長から資料に基づいて説明がなされた。当初分科会の司会を担当する予定であった川地亜弥子氏より、「他の分科会でも司会を担当する可能性があるため、できれば他の方と交代したい」との申し出があり、杉浦健氏と交代することとなった。その結果、司会：杉浦健・疋田祥人、記録：中嶋佐恵子、発表：大前哲彦・佐々木英一（追手門学院大学）・向後礼子（近畿大学）・酒井恵子の各氏が担当することが確認された。なお、コメンテーターは大阪府社会福祉協議会に人選を依頼することも、併せて承認された。

(5) 2011年度定期総会および第1回課題研究会の運営について

酒井恵子事務局長から資料に基づいて説明があり、以下の点などを承認した。

①日程は5月11日（水）、会場は大阪工業大学（大宮キャンパス、研修センターOITホール）とする。

②課題研究会の第1部は教職課程認定大学実施視察校からの報告、第2部は「発達障害学生の指導をめぐって（仮題）」とする。話題提供の候補者は、瀬島順一郎・中村健（プール学院大学）の各氏とし、事務局からは加盟大学に対するアンケート結果を報告する。

③2011年度の会長・事務局長・幹事校、全私教協への派遣役員・委員は、今年度通りとする（一部変更の可能性あり）。但し、会計監査委員のうち水谷勇氏（神戸学院大学）の交替候補は、前原健三氏（武庫川女子大学）とする。

④2011年度の活動方針および事業計画案は原案通りとする。

(6) 阪神教協議レポートの編集について

山田全紀氏から資料に基づいて説明があり、原案の目次3)の「第3回課題研究会第一部」の終わりにも「質疑応答の記録」を掲載する、目次5)の「介護等体験実施連絡協議会報告」は削除する(未開催のため)という2点の修正を加えて承認した。なお原稿謝礼は2010年度予算執行の関係で原稿受け取りの段階で支払うことも併せて了承した。

(7) 今後の記録担当について

来年度4月の幹事校会の記録担当は関西大学とし、5月以降の担当については、次回以降に順次決めていくことを確認した。

(8) その他

- ①大前哲彦氏から、再課程認定申請時に4年以内の退職予定教員がいる場合の措置に関する文部科学省からの指導について話題提供があり、情報交換を行なった。
- ②全私教協「教員養成制度検討委員会」の意向に基づき川地亜弥子氏から、短期大学の立場から主張が可能な候補校の推薦依頼があり、関西福祉大学の短期大学(関西女子短期大学)、大阪青山短期大学の名前があげられた。
- ③次回幹事校会の日程を、4月13日(水)の14時からと確認した。